

# お元気でですか

三菱樹脂OB会だより第十四号

## 高橋会長が退任 鳥居正義氏が新会長

### OB会総会報告

平成十八年五月十九日(金)  
長浜工場第十四、十五会議室  
総会 出席者九十三名  
司会進行 岩田常任幹事

#### (一) 高橋前会長挨拶



本日は、あいにくの天気にもか  
かわらず、多数の会員のご出席を  
賜りありがとうございます。

平成二年に発足した本会も、年  
を重ねると、会員が増加し六百  
名を超えるに至りましたことは、  
ご同慶の至りでございます。しか  
し、この一年の間に六名の方が亡  
くなられたことは、悲しく心から  
ご冥福をお祈り申し上げます。

とくに、本OB会の発足を主導  
され、初代会長に就かれて基礎を  
築かれた後、名誉会長としても、  
本会の発展を見守りいただいた大  
和田様と、幽明境を異にされたこと  
は痛惜の極みです。そのご功績

に改めて感謝の意を捧げる次第で  
す。後ほど、この一年に亡くなら  
れた方全員を含めて、追善の黙禱  
を致したいと思います。

私こと、前倉持会長の任期半ば  
に会長代行職について以来約九年  
になります。歳も今年八十歳に達  
します。本総会を以て、会長  
を退任させていただきたく存じて  
おります。至らぬ身でございます  
が、この間、役員の方々に始め  
として、会員の皆様のご協力、ご  
支援によって、今日まで大過なく  
職務を全うできたことは、私の大  
変喜びであって、厚くお礼申し上  
げます。

ふり返ってみますと、就任以来  
会員の皆様方の親睦の増進と心身  
の健康へのお役立ちを、本会運営  
の基本として、次のことを重点に  
進めてまいりました。

- 一、スポーツ、歩く会など健康  
増進の会、趣味の会など、  
日常レクリエーション分科  
会活動の推進
  - 二、この輪を広げるべく、大阪、  
名古屋支部の分離独立など  
による地方組織の活性化
  - 三、OB会だよりの発刊、ホー  
ムページの開設などの広報  
活動の充実
  - 四、ご不幸通知など緊急連絡の  
ための情報ネットワークの  
再構築
- いづれも、担当幹事以下、多く

の方のご協力によって順調に推移  
発展していることを感謝しており  
ます。

残念なことは、ゼロ金利時代に  
遭遇して、発足初期に積み立てた  
基金を、毎年食い潰しつつあるこ  
とです。あと数年は何とかなると  
しても、その後は、財政面での新  
たな対策が必要になりますが、こ  
の方策を明確にせぬまま申し送り  
恐縮でございます。

後任会長として、鳥居正義様を  
推薦いたしますので、今後、新会  
長の下、一層の発展をお祈りいた  
します。

私どもの母体である三菱樹脂社  
も、好業績のもと、本年二月一日  
に、創業六十周年を迎えました。  
あわせて益々の発展をお祈りいた  
します。

結びに、本総会にあたり、三菱  
樹脂社ならびに関係会社各位より  
ご祝儀を頂戴したことをご報告し、  
各社に厚くお礼申し上げます。

長い間ありがとうございます。

#### (二) 会務報告 岩田常任幹事

(1)物故会員報告。昨年度は六名  
の物故者がおられ、その御霊に全  
員で黙禱しご冥福をお祈りした。

(2)傘寿お祝い贈呈報告。五名の  
方にお祝いを贈呈した。総会ご出  
席の北川久男氏に全員拍手をもつ  
てお祝いの意を表した。

(3)会員現勢報告。平成十八年三

月末現在会員総数は五九一名、内  
新入会員二五名。

(4)平成十七年度OB会決算報  
告。平成十七年度定期総会収支決  
算報告。OB会基金決算および予  
算報告。平成十八年度OB会予算  
説明。

(5)谷口会計監事から監査報告。

(6)役員改選の件。高橋義衛氏が  
会長を退任され、顧問に就任され  
た。鳥居正義氏が会長に就任され  
た。岸川茂氏が名古屋支部長を退  
任され、代わって伊藤壽氏が同支  
部長に就任された。吉井靖、黒川  
亮、柴田壽一の三氏が幹事を退任  
され、代わって柘植茂、宮下和久、  
矢作憲三の三氏が幹事に就任され  
た。なお、退任された黒川、吉井  
両幹事には、会の運営上で重要な  
貢献をされたことを、高橋前会長  
から具体的に報告された。

(7)前記の決算、予算、役員改選  
の諸議案について出席者全員異議  
無くご承認を得た。

#### (三) 鳥居新会長挨拶



この度、OB会会則に則り、去  
る四月六日の幹事会で推挙を受け  
本日の総会で、先刻承認を受けま  
したので、微力ながら、会長を引  
き受けることとなりました。

たしか一年前から、高橋会長よ  
り打診を受けていましたが、諸先  
輩方が多数おられるOB会の会長  
を、若輩の私が引き受ける役でな  
いと固辞してきましたが、八十歳  
の傘寿をお迎えになられたことも  
あり、誰かが引き受けなくてはな  
らないと思ひ、決意した次第です。

私は昭和三十四年四月、長浜樹  
脂㈱に入社いたしました。その後、  
リタイヤするまでに、東京、平塚、  
美祢、甲府と転勤しましたので、  
OB会の多くの方々にお世話にな  
りました。

たまたま、手元に昭和三十年四  
月作成の長浜ゴム工業㈱の職員名  
簿がありましたので、チェックし  
ましたところ、二十五名の方が本  
日出席しておられ、その方々にご  
心配、ご迷惑をおかけしたことを  
思い出し、反省しています。

今後のOB会の活動は、今まで  
同様、会員の親睦と高齢に備えた  
心身の活性化のお役立ちに努めて  
まいりたいと思ひます。

これも偏に、各支部長、各幹事



の方々のご尽力と、会員皆様のご協力の賜物と存じますので、今後も、前会長同様、よろしくお願ひ申し上げます。

**(四) 三菱樹脂経営状況説明**

総会終了後、畑長浜工場長から、三菱樹脂社の、平成十八年三ヶ月の経営状況について「連結経常利益九七億円と過去最高益をあげる事ができた」ということととも、今後の経営重点方針について、詳細な説明があった。

**懇親会** (長浜工場社員会館ホール)

司会進行 森川長浜支部長  
開会挨拶 鳥居新会長

**神尾章社長挨拶**



昨年五月に、東京の三菱クラブでお会いして以来、一年ぶりに、OB会諸先輩方にお会いでき、また、皆様方のお元気なお姿を拝見でき、大変うれしく思っております。当社は、本年二月に創立六十年を迎えました。五十年の時に社史を作成しておりますが、今回は、それから十年間の歴史を社史に追加編纂できるように、データを整理したいと考えております。当社の経営状況につきましては、先ほど、畑長浜工場長より詳しい

説明があったと思いますが、幸いにして連結営業利益、経常利益ともに、二年続けて過去最高益を更新することができました。これもひとえに、諸先輩方が努力して築きあげてこられた技術や経営基盤の賜物と心から感謝いたしております。

今後の経営見通しにつきましては、国内景気が回復する一方、原材料価格の激しい高騰でコスト高という厳しい経営環境にあります。OB諸先輩方からは、株価や配当について、もっと改善して欲しいというご意見もお聞きしておりますので、われわれとしては、今後、もっと努力をしていかなければならないと考えております。

六十周年の記念事業の一環として、長浜に新研究開発棟を建設中で、来春には完成します。次世代に向けた高機能商品の開発拠点として、立派な成果を挙げて、沢山のお客様をお招きできるように努力していきたいと考えております。来年のOB会総会までに、株価も改善、増配もでき、諸先輩のご期待にそえるよう頑張っていきたいと考えておりますので、引き続きご支援をいただきたいと思います。

**乾杯・懇談**

鳥居新会長のご発声で乾杯し、懇談に移りました。

**中締**

神部勇作氏のご発声で三菱樹脂社ならびにOB会のさらなる発展を祈って三本締めでお開きとなりました。



**山内一豊・千代博覧会めぐり**

参加者三十二名

今回は、NHK大河ドラマ「功名が辻」ゆかりの地、長浜で「山内一豊・千代博覧会」が開催中という事で、工場見学に代えて博覧会めぐりをオプションメニューとした。

米原駅前を十一時十分に貸切バスで出発。今回は、長浜市の観光ボランティアガイドをされている富岡秀雄さんと氏原建士さん、大ベテランの柴田弥蔵さん三人のガイドつきという豪華なバスツアーとなった。

あいにくの小雨そぼ降る中、五分ほどで、最初の目的地、千代の生誕地である飯村の若宮氏館跡地に着く。傘をさしながら、氏原さんの名調子の説明を聞く。

続いて、また五分ほどで、次の目的地、宇賀野の法秀院(一豊の母)の墓に着く。雨が本降りにな

る中、今度は富岡さんの蘊蓄ある説明に聞き入る。

その後、琵琶湖畔道路を経由して、長浜城を車窓見学しながら長浜駅前到着。ここでバスを降り、徒歩で長浜市街を散策し、曳山博物館に入館。一豊・千代に関する展示とともに、曳山の現物を見ながら、富岡さんの説明を聞く。同行の小林一好さんが、子供歌舞伎の名優であったという話しも出て、小林さんにも質問が飛ぶ。

それから、大通寺の境内を散策し、長浜工場に向かい、十三時過ぎに、ツアー終了。



**総会懇親会出席者**

(会社) 神尾章社長、平盛秀正専務、畑正紀長浜工場長、小花秀一長浜工場総務部長  
(本部) 高橋義衛前会長、鳥居正義新会長、宮部義一顧問、菅澤武彦顧問、青山新太郎、安藤明義、安藤忠雄、井伊國裕、岩田幸三、大庭忠利、鹿島静哉、加藤進、榮

洋一、坂本堅一、佐藤昌二、澤田耕輔、柴田栄一、谷口勝利、野中矩仁、藤井良寛、増原雄甫、宮下和久、山田守士、山本猛、吉本光夫

(長浜) 青山敏雄、岩井文雄、岩田由春、磯田智、氏原建士、大村元孝、大西義夫、尾本光弘、梶道信、梶間加弘、金澤淳三、神部勇作、北川久男、北川良雄、草野政蔵、草野康雄、小林一好、小林剛、小林守、佐伯清忠、笹原榮之助、柴田清廣、柴田弥蔵、高山栄司、立石堯、田中幸雄、辻彦太郎、堤賢三、富岡秀雄、外海金太郎、中村利之、夏川清、西川多気夫、西沢芳朗、西堀和弥、馬場智章、東田昭一郎、広瀬毅、広瀬洋造、藤居勇治郎、藤田稔、福原清、村上左門、松宮正之、宮澤勉、三田村勇、武藤幹男、森隆男、森川栄壽、世森幹治、中嶋清  
(大阪) 岡本益弘、西本郁夫、平井穰、福井久、松本弘、宮本二四彦、山口滋、山本功  
(名古屋) 伊藤壽、合原精一、杉山英雄、杉原謹吾、谷口厚生、中島次郎、速水幹男  
(九州) 相馬義一、田中一英

**第六回 OB会作品展**

神奈川県民ホール第一展示室  
平成十八年二月二十七日〜三月五日  
第六回OB会作品展が開催された。以下は、柳澤知男さんの、作品展に関する感想文です。  
二月二十七日(月)早朝、横浜港山下埠頭大棧橋では豪華客船「飛鳥II号」が純白の巨体を

休めている。それを横目に見ながら、神奈川県民ホールに向かう。会場ではこの日から「第六回三菱樹脂OB会作品展」が開催され、会期は三月五日(日)までの一週間である。

作品は絵画、写真、織物、刺繍、篆刻など合わせて七十四点が展示された。また、今回特筆すべきことは、新入会員の作品が数多く出品されたこと、部門別では絵画と写真が多かったことである。会期中、土砂降りの雨の日があり、例年行われる有名歌手による歌謡ショーのイベントもなく、概して入場者は低調であった。三月三日には「歩こう会」の仲間が駆けつけてくれたので、入場者数の持ち直しがあり、最終的には約五百人を数えるに至った。



作品については、絵画は個性が一層発揮され、迫力が一段と増しているとの評価であった。写真は絵画と同様な評価もあったが、作品数が多く絵画と比べ

小さいため、展示に窮屈な印象を受けたようであった。写真の点数は次回以降さらに増える見込みであり、展示方法の見直しが問われそうである。全体として、回を重ねるにつれ、努力の結果が作品にあらわれているという印象であった。

(柳澤 知男 記)

出品者 相川武夫、大熊祥子、奥宗治、奥マサ子、加藤進、加藤節子、金井ヒロ子、櫻井章博、下瀬英樹、坪井駿三、中村俊一、野中矩仁、日高晃一、平松久、前田又彦、前田幸子、丸小野悦子、山田守土、青山新太郎、安藤忠雄、久保秀雄、鶴岡英雄、永松啓至、西林公助、埴宏、江昭道、柳澤知男、山崎勲、山崎公子、山本猛、吉井道郎、

なお、第七回OB会作品展は、来年二月十二日〜十八日、神奈川県民ホールで開催予定です。

### 歩こう会

本部第五十一回歩こう会  
自然教育園から泉岳寺

平成十八年四月二十一日(金)参加者二十六名 荒木秀浩、石井弘、石射祥光、石川晃司、石橋正康、市村義雄、伊藤敬輔、岩田幸三、小倉武司、加藤進、神田隆、木原仁博、榮洋一、坂本堅一、下瀬英樹、高橋義衛、田中須賀男、田中英子、谷口勝利、豊田安鴻、松内俊夫、松林義明、宮下和久、山本猛、山谷章浩、吉井靖

前日の嵐が去って、爽やかな天気にも恵まれて気持ちのいい午後になった。集合場所のメトロ白金台駅は比較的新しい路線にあり、相互乗り入れ、乗継など初めての人が多く心配していたが全員無事集合。



まず自然教育園へ。新緑のケヤキの下で、国立科学博物館の萩原学芸員の説明を聞く。この場所は、江戸時代には水戸光圀の兄に当たる松平讃岐守の下屋敷の跡で、維新の後、火薬庫として、大正になって御料地として、一般人が入れなかったので豊かな自然が残ったという。武蔵野という雑木林の自然林を思い浮かべる人が多いが、本来は文字どおり野原であった。江戸開府以前は野焼きをしてムラサキを採取していたのが、江戸の人口が増えるにつれ、燃料を供給するために雑木が植えられ造成林となったこと。植物相

の変化の話。湧き水が作っている池の変化のこと。などなど、興味の尽きない話を聞きながら散策を楽しんだ。樹齢三百年というクロマツの老木にわずかに庭園の名残りがあつた。さわやかな自然をもっとゆっくり満喫したい気持ちを残して次へ向かった。

自然教育園から目黒通りを清正公前までくだり、白金高輪の急階段を上ると旧細川邸、赤穂義士切腹の碑があり、今度は民家の間の細い路地を下ると泉岳寺であつた。

門前のみやげ物店、「義士堂」のおやじさんに泉岳寺と忠臣蔵の話聞く。満松山泉岳寺が正式名。江戸時代は、浅野家を含む五大名家だけが檀家という寺で、曹洞宗の修行の学僧を集めた寺であつたという。

門脇の内蔵助の銅像の容貌は歌舞伎役者のもので、実際は干した梅干のようだったという記録があるらしい。義士たちの多くは下級武士で、討ち入りまでの生活が大変だったとか。討ち入りの装束もまちまちだったとか。

吉良邸から泉岳寺まで約十キロを二時間で引揚げ、道中は上杉の逆襲に備えた陣形であつた。首級を洗った首洗いの池を見て、一同墓前に線香を手向けて合掌。義士の墓には切腹の後、首を抱えた状態の遺体が桶に収められ埋葬されているよし。

「つじの家」で合流、ゆず風呂に浸かったあと、年に一度の鳥鍋の席に着いた。Hさん持ち込みの銘酒が美味しく、地酒も美味く、量が進み鳥鍋も「食べすぎですよ」と牽制される御仁の出るほど皆堪能。ご機嫌な一行は、門前で記念写真。



どにしみるうまい乾杯であつた。最後は荒木さんの締めで閉会とした。(加藤進 記)

### 第二十一回樹楽会 柚子の里

平成十八年三月九日(木)

参加者十一名 鈴木民雄、松本弘、松本夫人、吉田康子、平井穰、福井久、岡本益弘、奥田公具、山口滋、内藤次生、熊倉寛  
初春の西京保津峡駅から歩き登る八名と送迎バス組三名が

(熊倉寛 記)

ゴルフ同好会

第四回千葉オープンゴルフ

平成十八年四月二十五日(火)  
佐倉カントリークラブ

参加者十六名 安田久雄、北川忠澄、中村重善、岩田幸三、関守二、東田浩作、山崎勲、石橋正康、久保秀雄、長崎英太郎、水島晃、徳永英之、西林公助、皆川典夫、君塚康、長崎光男

当日の天気は「寒気が入り一日小雨。所によっては雷を伴う本格的な雨」との天気予報。朝からゴルフ場に着くまでは小雨スタート前に雨が上がり、集合写真撮影可となる。

今回のコースは、京成佐倉駅より徒歩六分と交通の便もよく、なだらかな林間コース(セルフ・乗用カート)。参加者も四回目にして最高の十六名の参加者。(内四名が初参加、内三名は横浜よりの参加)と定着してきた感じ。(登録会員は二十四名) 天気の方は、午後時々小雨、遠くの雷鳴を気にしながらのプレー。成績も比較的午前のインの方が良く、午後は小雨に悩まされ、傘をさしてのプレーでアウトの方が悪かった。

優勝と三位は初参加の久保、長崎両氏。

懇親会は新規参加者の話題や次回開催コース選定で議論仲伯安さを選ぶか、交通の便を選ぶかで、佐倉カントリーにもう一度挑戦したいとの意見もあり、十月のシニアデーの火曜日に、佐倉カントリーで行うことで、

幹事一任となる。

主な入賞者

優勝 久保秀雄さん

準優勝 石橋正康さん

第三位 長崎光男さん

(石橋 正康 記)



フォトサークル2000

第十四回撮影会

平成十八年四月四日(火)

参加者九名 青山新太郎、関守二、西林公助、橋本志真彦、塙宏、広江昭道、柳澤知男、山崎勲、永松啓至

フォトサークル恒例の春の撮影会を、新宿御苑で行った。

開門時刻の九時前から、千駄ヶ谷門の前には、すでに多くの写真愛好家が待機している。

われわれフォトサークルのメンバーも、その中に混じって開門を待つ。

開門と同時に、各自、自慢の名機を携えて園内に入る。目当

ての桜は、前日の風速三十メートルを越える強風にも拘わらず満開で、快晴、微風で暖かい天候と相俟って、まさに絶好の撮影日和となった。

染井吉野、枝垂桜、大島桜、山桜等々、数多くの種類の桜がこぼれんばかりに咲き誇っている。撮影対象が豊富で被写体を絞り込むのに苦労するぐらいで、めいめい広い園内を撮りまくった。途中、十時に千駄ヶ谷門に集まって記念撮影を行い、その後、撮影を再開し作品作りに励み、十二時、新宿門に集合し、当日の撮影会は全員満足の中に無事終了した。

その後、会場をいつもの場所に移し、銘酒「底抜け」に気持ちよく酔い、写真談議、健康談義等に話が盛り上がり、二時半過ぎに終了した。

この日の成果は、来年二月のOB会作品展に発表の予定ですのでご期待ください。

(永松啓至 記)



OB会事務局から

▽会員数

全会員数 六〇八名 本部三四三名  
長浜一八〇名 大阪三七名  
名古屋二〇名 九州二八名(平成十八年五月三十一日現在)

▽訃報

- 伊豆亥児殿 平成十七年七月二十日逝去
  - 東野元貞殿 平成十七年八月十九日逝去
  - 高野達男殿 平成十七年八月二十日逝去
  - 乙竹利清殿 平成十七年九月二十日逝去
  - 末松幹殿 平成十七年十一月十八日逝去
  - 大和田昇殿 平成十八年三月十八日逝去
  - 玉木正良殿 平成十八年四月四日逝去
- 慎んでお悔やみ申し上げます。

▽傘寿祝贈呈

中村寿夫殿、北川久男殿、末永理殿、西岡昭殿、山口昭殿

▽役員改選

- 大和田昇氏 名誉会長退任
- 高橋義衛氏 会長退任、顧問就任
- 鳥居正義氏 会長就任
- 岸川茂氏 名古屋支部長退任
- 伊藤壽氏 名古屋支部長就任
- 吉井靖氏 幹事退任
- 柘植茂氏 幹事就任
- 黒川亮氏 幹事退任
- 宮下和久氏 幹事就任
- 柴田壽一氏 幹事退任
- 矢作憲三氏 幹事就任

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7-2F  
(株)ダイヤサービス東京支店内 担当 原島尚彦 TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837

編集委員

加藤 進 TEL/FAX:03-3709-3610  
柴田清廣 TEL/FAX:0749-65-7834  
原田浩次 TEL/FAX 045-621-3355  
宮下和久 TEL:03-3290-0619 FAX:03-3290-0618  
柘植 茂 TEL/FAX:03-5548-3455

e-mail ssmkato@u01.gate01.com  
e-mail shibapin@guitar.ocn.ne.jp  
e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp  
e-mail kazuhisa14@jcom.home.ne.jp  
e-mail beetsuge@snow.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス

<http://www.obkai.mpi-mrc.co.jp/>